

様式2 令和4年度 学校運営協議会(コミュニティ・スクールくさつ)の実施報告および議事概要

1、日時・場所

	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会	第4回学校運営協議会
日時	6月28日(火) 13時30分～15時10分	9月21日(水) 10時00分～11時20分	月 日() 時 分～時 分	月 日() 時 分～時 分
場所	笠縫東小学校 会議室	笠縫東小学校 会議室		

2、委員の出欠

名 前	役 職 等	出 欠	出 欠	出 欠	出 欠
1 卯田 正明	笠縫東学区まちづくり協議会顧問	出席	出席		
2 深田 圭一	笠縫東学区社会福祉協議会会長	出席	出席		
3 寺嶋 和男	笠縫東学区民生委員児童協議会会長	出席	出席		
4 片山 恵泉	地域住民代表	出席	出席		
5 卯田 美千代	笠縫東学区まちづくり協議会役員	出席	出席		
6 鳥居 直美	笠縫東小学校PTA会長	出席	欠席		
7					
8					

※名前に記されている印は、◎会長 ○副会長

名 前	役 職 等	出 欠	出 欠	出 欠	出 欠
1 古谷 匠	校長	出席	出席		
2 山下 裕司	教頭	出席	出席		
3 築田 尚晃	教務主任	欠席	欠席		
4 山口 美登里	教務	出席	出席		
5					

3、傍聴人の有無

傍聴人	0 人	傍聴人	0人	傍聴人	人	傍聴人	人
-----	-----	-----	----	-----	---	-----	---

4、議題および主な意見

基本理念	施策の基本方向・項目	市重点	学校重点	基本施策	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会	第4回学校運営協議会	
子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ	1豊かな心と健やかな体の育成	○	○	3	道徳教育・人権教育の推進	(主な意見) ○この運営基本方針は学校の弱みを強くするためのものなのか、強みをさらに強くしていくのか明確にする必要がある。 ○学校不適応等の課題については、その原因は何なのかをしっかりと見極めていく必要がある。まわりの人々が支えていける仕組みができるとよい。 ○人権教育と道徳教育はちがうものであり、分けて考えるべきではないか。	議題 全国学力学習調査について 概要 本校の児童の国語、算数、理科におけるポイントの高かった部分、また、そうでなかった分野についての分析。	議題	主な意見 ○例えば理科なら教えるだけでなく、理科室の前の廊下に備品等を並べるなどし、普段から目につきやすくしておく、日常的に工夫していくことが大切ではないか。百葉箱の活用も気温表示スペースを作るなど工夫していきたい。
			○	4	いじめを根絶する取組の推進				
			○	5	健やかな体づくりの推進				
				6	社会性や豊かな情操育てる教育の推進				
				7	インクルーシブ教育の推進				
				8	ICTを活用した教育の推進				
				9	読書活動の推進				
	2確かな学力の育成	◎	◎	8	ICTを活用した教育の推進	いろいろな角度からご意見をいただき、それを踏まえて学校が最終決定していく方向で了承していただいた。			
				10	基礎学力向上のための取組の充実	基本施策番号(15)	基本施策番号(15)	基本施策番号(15)	
		◎	◎	11	英語教育の推進	議題「あいさつが広がる東っ子について」	議題 地域の行事について	議題	
	3教職員の指導力の向上	○	◎	12	教職員研修・研究活動の充実	現状の姿 ・あいさつをすることについてはまだまだ広がっていない現状があると感じる。	概要 以前は3年生と民生委員との交流会が行われていたが、カリキュラムの変更でなくなったと聞いた。ぜひ復活させてほしい。	概要	
				13	教職経験に応じた人材育成の推進	主な意見 ・登下校の時など、よくあいさつができるようになってきたと感じている。今後も大人の方から言い続けることが大事である。しっかりと大きな声であいさつができる子ども多くいる。中止となっていた「あいさつ運動」も7月1日から再開される。さらに、挨拶ができるように広げていきたい。	主な意見 ・子どもたちが地域の行事に参加する割合は大変大きく、地域の誇るべきところである。コロナの影響で中止になったのは仕方ないが状況が収まれば復活させてほしい。	主な意見	
				14	教職員の健康管理と働き方改革の推進				
	4学校経営の充実	◎	◎	15	地域の活力を生かした特色ある学校経営の推進	児童のあいさつについては、しっかりできるようになってきたと、評価をいただいた。さらに保護者世代の子育ての悩みを気軽に話せる場があればよいと感じた。	・地域と、学校とがそれぞれが求めているものとのすり合わせが必要となる。		
			○	16	教職員の指導体制・学校支援体制の充実				
		○		17	配慮を要する子どもへの支援体制の充実				
					成果および課題				